

ひとつひとつ できることから

ちょっとした心がけが、ごみの減量化につながるがあります。例えば、無駄な物は買わない、詰め替え商品を買う、過剰包装を断るなど。一見ささいなことのようにですが、皆さんの取り組みが大きな効果につながります。ひとつひとつできることから始めてみましょう。
市では、市民の皆さんから、ごみの減量化にご協力いただけるよう、さまざまな支援をしていますので、ご活用ください。



さまざまな団体が自主的に集団資源回収を行い、実績を上げています。

集団資源回収を徹底しましょう

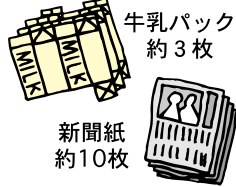
市では、自治会や子ども会など集団回収をしている市民団体に、奨励金を支給するほか、シートやリヤカーなどの貸与や譲渡を行っています。活動をバックアップしています。奨励金は、新聞など1対し5円です。回収活動が始める際は、事前に登録が必要です。お気軽にお問い合わせてください。

お問い合わせ 清掃課(内線2765)へ

年間ごみ処理費用

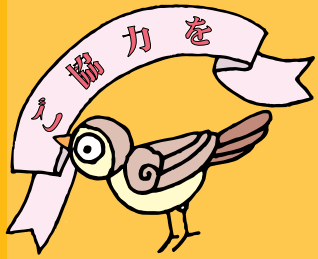
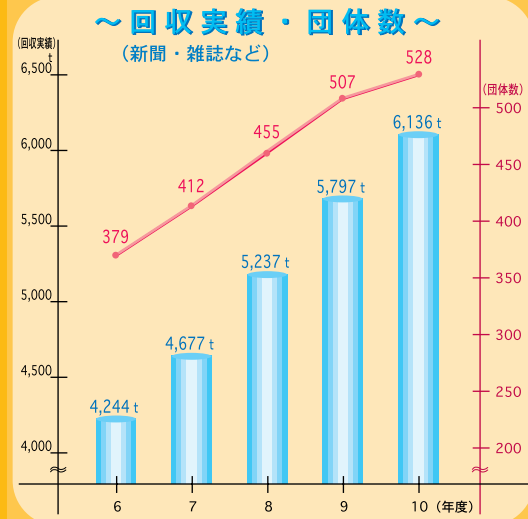
毎日一人

100g



約5億円節約することができます

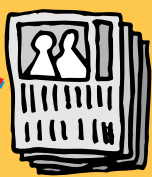
のごみを減らすと のごみをリサイクルに回すと



一世帯当たりの新聞排出量は、一カ月約10といわれ、年間では、全世界で約2万2000にもなります。新聞や雑誌などはごみとしてでなく、資源として集団資源回収などにしましょう。

焼却
そのほか

18,500t



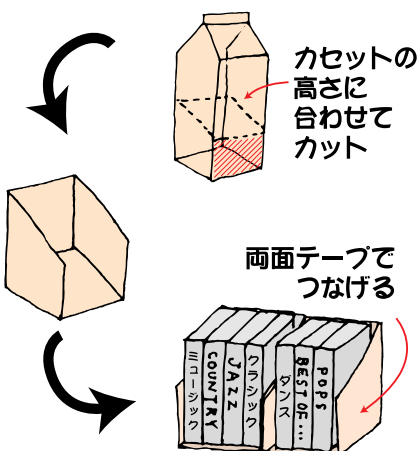
集団資源
回収

3,500t

もっと新聞をリサイクルしましょう

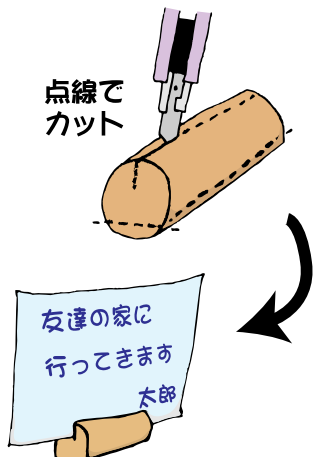
おすすめリサイクル

どんどん増えるカセットテープの収納に牛乳パックがおすすめ。中をよく洗って乾かしたら、カセットテープの高さに合わせて斜めにカットするだけ。カセットテープ4本がぴったり入ります。



牛乳パックでカセットテープ収納

ワインを飲んだ後に残るコルク。カッターでカットするだけで、おしゃれなカード立てができます。外出時、家族に一言メッセージを残すのにも役立ちます。



コルクで作るカード立て



ごみ減量化・資源化協力店制度

市では、ごみの減量化・資源化に積極的に取り組んでいる市内の販売店などを協力店として認定し、消費者・販売店・行政が一体となって幅広いごみ減量化、リサイクル運動を展開しています。協力店は、現在、115店舗、1商店街で買い物袋の持参や、簡易包装を勧めるほか、ペットボトルや食品トレイ、アルミ缶などを店頭回収しています。ご協力をお願いします。



ペットボトルは、純度の高いポリエチレンテレフタレートという樹脂から作られています。この樹脂からは、衣料繊維も作られており、使用済みのペットボトルも衣料繊維に生まれ変わります。

再資源化への取り組みとして、市でも作業着などに再生繊維を取り入れています。



2のペットボトル4.5本分で、プラスチック配合率55%の作業着ができます。



公開抽選で当選された方には、「緑と花の基金」へ寄付をお願いします。市内の緑化に役立っています。

エコプラザでは、まだ使えるけれど家庭で不用となった家具類や電化製品などを展示し、公開抽選により希望者に無料で提供しています。不用品がでたらエコプラザにぜひご一報を。ごみとして処分するのでなく、必要とする方に使ってもらいましょう。

お問い合わせ エコプラザ(270・3009)へ

リサイクル提供事業

お問い合わせ エコプラザ(270・3009)へ